



鳥取県立鳥取盲学校

学校だより

第 6 号

校長 岸田 裕子

令和7年2月28日



## 児童生徒の様子

## 小学部 ～3学期も元気いっぱい～

3学期も寒さに負けず、元気に学ぶ小学部児童3名の学習の様子をお伝えします。1年生の生活単元学習「ふゆをたのしもう」の学習で、教師と一緒にかるたとりをしました。1年生の体育の学習では、バランスをとりながらそりすべりをし、新雪の感触を楽しみました。5年生は、三つ折りやまち針を留めている箇所を意識しながらランチョンマットを作りました。また、送別会に向けて、卒業生への出し物の練習をしているところです。力を合わせてがんばっています！



【先生とかるたとり対決！】



【送別会の出し物の練習中】



【養訓山でそりすべり】



【ランチョンマット作り】

## 高等部普通科 ～世の中に学ぶ～

### 【ギャンブル依存防止教室】

2/7(金)鳥取県障がい福祉課のコーディネートにより、ギャンブル依存症当事者の話を聞く機会を得ました。今回開催された防止教室では、依存症の恐ろしさとその回復への道のりについて詳しく学びました。生徒たちは、自分自身にも関わる問題として捉え、深い問題意識を持つことができました。依存症は本人の意志だけではコントロールが難しい問題です。オンラインカジノなど最近盛んに報道される事象も多く、正しい認識と判断が求められています。



【ギャンブル依存防止教室の様子】

### 【先輩に学ぶ会】

2/14(金)普通科はばたき教室において、キャリア教育の一環として「先輩に学ぶ会」が開催され、卒業生の山尾康仁さんをお招きしました。生徒は日々の仕事の内容や休日の過ごし方など色々質問を投げかけました。山尾さんからは働く上での心構えや金銭管理など、社会人として大切なことを自身の経験をもとに丁寧に語っていただき、卒業を控えた生徒には熱いエールとなりました。最後に茶話会を催し、思い出話に花を咲かせながら旧交を温めました。



【山尾康仁さんによるお話】

## 保健理療科・専攻科 ～ 職場見学体験実習 ～

2 / 14 (金) 保健理療科と専攻科理療科の生徒2名で、米子市にある株式会社HHP『ほかほか倶楽部デイサービス』を訪問しました。短時間機能回復訓練付きデイサービスの概要を教えてくださいと、利用者の方のための機能訓練の機器についても丁寧に説明していただき、体験もさせていただきました。また、利用者の方が嬉しそうに施設に来られる様子や、楽しそうに運動をされる様子も見学しました。機能回復訓練付きデイサービスの実際を知り、現場での運動指導やマッサージの様子を学ぶ貴重な機会になりました。



【様々な機器の体験をしている様子】

## 寄宿舎 ～つながる交流～

今年度は、熊本盲学校の寄宿舎とオンライン交流をしました。舎生たちは、会の始めは緊張している様子でしたが、お互いの自己紹介で共通の趣味があったり熊本県の方言や観光地を教えてもらったりしているうちに、和やかな雰囲気になりました。「熊本県に行ってみよう」「共通の話題があり友達になりたい。」など、嬉しそうに話す姿が見られ、県外の舎生とつながるよい交流となりました。



【 交流に向けて準備完了！ 】

## 給食週間

1月24日(金)から30日(木)の全国学校給食週間に合わせて、様々な企画を実施しました。児童生徒による「献立紹介」や「学校給食に関するクイズ」といった活動を通して、楽しく充実した時間を過ごしました。また、今年は給食川柳に代わり、新たに企画した「オリジナルおむすびコンテスト」を開催し、応募数9作品の中から各賞が選ばれました。



【表彰式の様子】



【献立紹介】



【調理場での服装を体験→】

### 【グランプリ】

たまごやき た～っぷりおむすび

### 【校長賞】

海賊王におれはなる

本年度は「発信する」をキーワードに鳥盲教育に取り組んでまいりました。保護者、関係機関、地域の皆様にお力をいただき、児童生徒、教職員ともに鳥盲の魅力を発信し、多くの方々への理解啓発に努めました。今以上によりよい鳥盲をめざし、今後も取り組んでいきたいと思えます。今年度は4名が卒業を迎えます。鳥盲での学びを自信に、自己の可能性を次のステージでも伸ばしてほしいと願っています。「GO!鳥盲!!」

教頭 南部 明